imagination at work

取扱説明書

GE デジタルカメラ

P シリーズ : PJ1

JP

警告

火災や感電の原因となるため、本製品を雨や湿気にさらさないでください。

米国の顧客の場合

FCC基準に準拠

家庭または事務所で使用する場合

FCC声明

本製品は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。 操作は次の2つの条件に規制されます:

(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

ヨーロッパの顧客の場合

「CE」マークは本製品が安全、健康、環境および顧客保護に関して欧州要件に準拠していることを示しています。「CE」マークの付いたカメラはヨーロッパでの販売を意図しています。

WEEE. [(コマ付きのごみ箱とx印WEEE補遺IV)]の記号は、EU諸国において電子、電気機器が分別収集されることを示しています。機器を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。本製品の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。

モデル名：PJ1

商標名：GE

責任団体：General Imaging Co.

住所：1411 W. 190th Street, Suite 550, Gardena, CA 90248, U.S.A.

電話番号：+1-800-730-6597

(アメリカとカナダ以外の場合： +1-310-755-6857)

次の基準に適合:

EMC： EN 55022:1998/A1:2000/A2:2003 Class B
EN 55024:1998/A1:2001/A2:2003
EN 61000-3-2:2000/A1:2001
EN 61000-3-3:1995/A1:2001

EMC 指令の規定 (89/336/EEC,2004/108/EEC) に従っています。

安全のための注意事項

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが高いと想定される内容を示しています。

⚠警告　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠　この記号は注意を促す内容を告げるものです。

🚫　この記号は禁止の行為を告げるものです。

カメラの取扱いについてのご注意

⚠警告

🚫　分解や改造しないこと

感電したり、けがをするおそれがあります。

🚫　落下などで破損し内部が露出したときは、露出部に手を触れない

感電したり、ケガをする原因となります。

🚫　水につけたり、水をかけたり、雨に濡らさないこと　（防水カメラを除く）

火災、感電の原因となります。

⚠　煙が出る、異臭がするなどの異常が発生したときはすみやかに電池を取り出す

そのまま使用すると、やけどや火災の原因になります。

電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。

🚫　可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在する恐れのある場所では使用しない

引火、爆発の原因となります。

🚫　フラッシュを人の目（特に乳幼児）に近付けて発光しないこと

視力障害の原因となります。

⚠　幼児の手の届かないところに保存すること

メモリーカードや電池などの小さな付属品を誤って飲み込むと危険です。万一飲み込んだときはただちに医師の診断をうけること。

🚫　指定外の電源は使わない

火災や感電の原因となります。

⚠注意

🚫　ぬれた手でカメラを操作しない

感電の原因になることがあります。

🚫 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠ 長期間使用しないときは、電池を外して保管すること

電池の液もれにより、火災やケガの原因となることがあります。

⚠ 航空機内で使うときは、離着陸時の電源をOFFにすること

本機器が出す電磁波により、航空機の計器に影響を与えるおそれがあります。

🚫 付属のCD－ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと

機器に損傷を与えたり、ヘッドフォンなどを使用したときは、大音響により聴力障害の原因となります。

電池についてのご注意

⚠危険

🚫 電池を火の中に投下したり、加熱しないこと

液漏れ、破裂、火災の原因となります。

🚫 電池をショート、分解しないこと

液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 専用の充電器を使用すること

液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

🚫 電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない

ショート、発熱し、火傷やけがの原因となります。

⚠ 電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診断をうけること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告

🚫 水につけたり、端子部を濡らさない

液漏れ、発熱の原因となります。

⚠ 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する

液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

🚫 外装にキズや破損のある電池は使用しない

破裂、発熱の原因となります。

🚫 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない

破裂、液漏れの原因となります。

⚠ 電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠注意

⚠ 長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく

液漏れ、発熱により、火災、ケガの原因となることがあります。

充電器についてのご注意

⚠警告

🚫 充電器を分解したり、修理や改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

🚫 落下などで破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

⚠ 本体が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常時は速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

⚠ 電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でふき取ること

そのまま使用すると火災の原因になります。

🚫 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となります。

🚫 海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）などの電源に接続して使わないこと

発熱、故障、火災の原因となります。

⚠注意

🚫 濡れた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

🚫 充電器を布などで覆った状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⚠ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

電源プラグを抜かないで行うと、感電、ケガの原因となることがあります。

序章

GEデジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。このマニュアルをしっかりお読みになり、今後のため、本書は安全な場所に保管してください。

著作権

商標

本書に記載されたブランド名または商品名はすべて識別目的でのみ使用され、それぞれの所有者の登録商標です。

安全に関する情報

カメラに関するご注意

- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わると、カメラ内部に結露が生じることがあります。カメラの電源を入れる前にしばらくお待ちになることをお勧めします。
- 寒冷地域では、電池の性能が低下し、使用できる時間も大幅に短くなります。
- 電池やメモリーカードの取り付けや取り外しの前に、カメラの電源をオフにしてください。
- カメラの清掃に、研磨剤入り洗剤、アルコールベース、または溶剤ベースの洗浄剤を使用しないでください。カメラは軽く湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。
- 結婚式や海外旅行など大切な撮影の前には必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。
- カメラまたはメディアの機能不良により記録した写真を再生できない場合、記録した写真の損失や撮影に要した諸費用及び利益損失等に関する損害などの賠償は致しません。

メモリーカードに関するご注意

- 新しいメモリーカードを使用するとき、またはメモリーカードがPCで初期化された場合、ご使用の前にお使いのデジタルカメラでメモリーカードを必ずフォーマットしてください。
- 画像データを編集するには、画像データをPCのハードディスクにコピーし、その後ファームウエアをアップグレードする場合はメモリーカードをフォーマットしてください。
- PCでメモリーカードのディレクトリ名、またはファイル名を変更または削除しないでください。カメラでカードが使用できなくなる原因となります。

本マニュアルについて

本マニュアルには、GEデジタルカメラの使用法に関する取扱説明が記載されています。本マニュアルの内容は正確を期してあらゆる努力が払われていますが、General Imaging Companyでは内容を予告なしに変更する事があります。

本マニュアルで使用される記号

情報を素早く簡単に探せるように、本マニュアルを通して次の記号が使用されています。

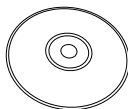
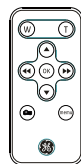
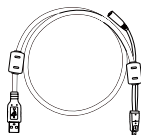
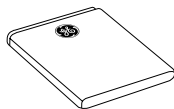
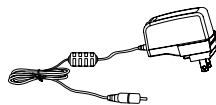
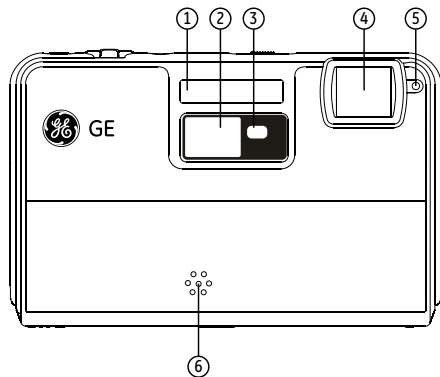
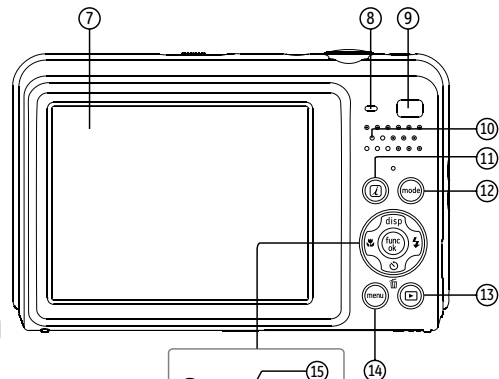
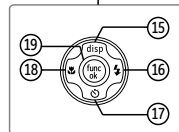
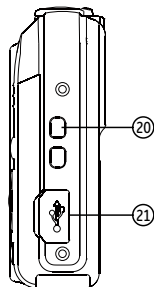
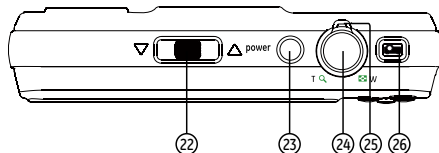
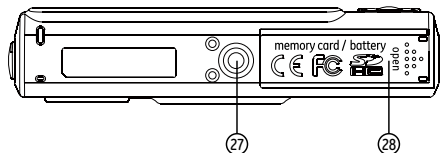
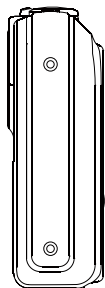
 知っていると役に立つ情報を示します。

 カメラを操作している間に取るべき注意事項を示します。

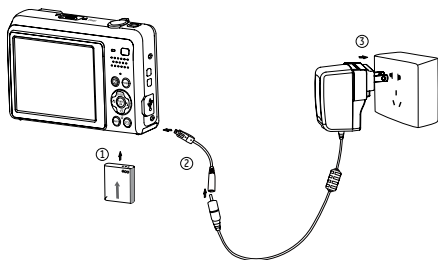
目次

準備をする

付属品一覧

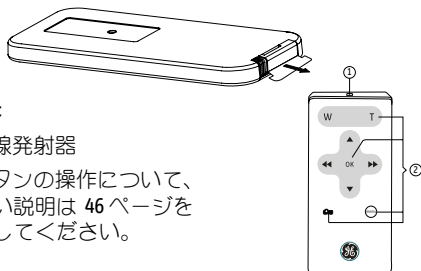
パッケージにはご購入されたカメラ、および次の付属品が含まれています。付属品が足りない場合や破損している場合は、販売店にご連絡ください。

カメラの外観

上面図

底面図

右側面図

1	フラッシュ	15	disp./機能ボタン上
2	投映レンズ	16	フラッシュモード/機能ボタン右
3	赤外線受信部（前面）	17	消去/セルフタイマー/機能ボタン下
4	レンズ	18	マクロモード/機能ボタン左
5	AFアシストビーム/タイマーインジケーター	19	func/okボタン
6	マイク	20	ストラップ取り付け部
7	液晶モニター	21	USB端子
8	電源ランプ	22	投映ズーム
9	赤外線受信部（背面）	23	電源ボタン
10	スピーカー	24	シャッターボタン
11	iキー	25	ズームレバー
12	モードボタン	26	投映ボタン
13	再生ボタン	27	三脚ねじ穴
14	メニューボタン	28	メモリーカード/電池収納部

電池を充電する

1. 図に示すように、電池をカメラに入れます。
2. 電源トランスファケーブルの一方の端を外部電源充電器に接続して、もう一方の端はカメラのUSB端子に接続します。
3. アダプタをコンセントに差し込みます。（仕向地により、アダプタが違います。付属の専用アダプタを使用してください。）

カメラのインジケーターが緑色になるまで、充電してください。（最初の充電は4時間以上行ってください。）お買い上げいただいたとき、カメラに同梱されている電池は完全には充電されていません。

240V以上の外接電源で、カメラに電池を充電しないでください。カメラ或いは電池を破損する可能性があります。

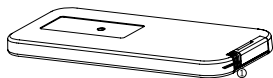
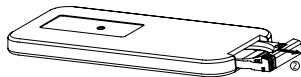
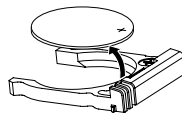
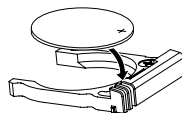
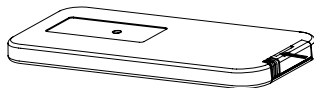
リモコンの使用

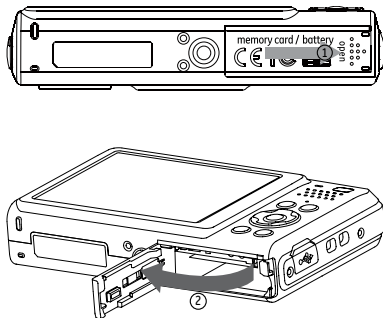
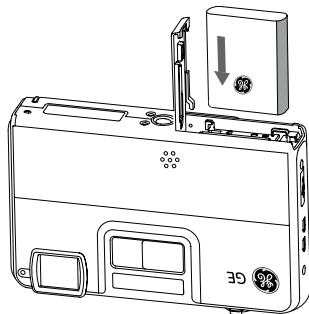
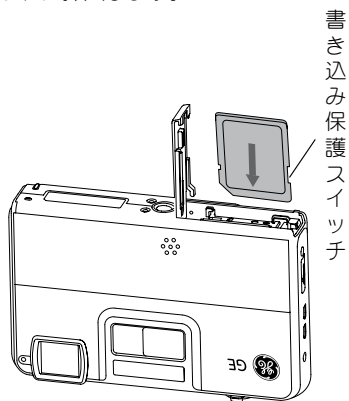
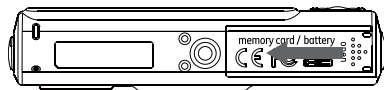
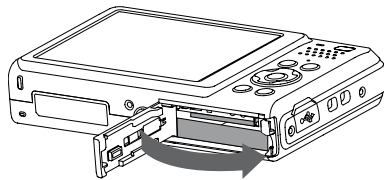
初めてリモコンを使用する場合、下図に示すように、リモコンに付いている絶縁膜を引き出してください。

リモコン：

①：赤外線発射器

②：各ボタンの操作について、詳しい説明は 46 ページを参照してください。

リモコン電池の交換：

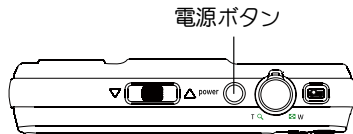
1. タングチップを押します。

2. 電池収納部を引き出します。

3. 電池を取り出します。

4. 新しい電池を電池収納部に入れます。

5. 矢印の示すように、電池収納部を戻します。

電池と、オプションのSD/SDHCメモリーカードを挿入する

1. 電池カバーを矢印方向にスライドさせて開きます。

2. 電池のプラスとマイナスを確認しながら、電池を挿入します。

3. 図に示すように、SD/SDHC カードをメモリーカードスロットに挿入します。

4. 電池カバーを閉じます。

電池容量は、使用と共に減少します。

SD/SDHC カードは別売です。信頼できるデータ保存のためには、SanDisk、Panasonic および Toshiba などの推奨された製造元の、64 MB～16 GB のメモリーカードの使用をお勧めします。

SD/SDHC カードを取り外すには、電池カバーを開き、カードを一度奥に向かって押し込んでそのままゆっくり戻します。カードを慎重に引き出します。

電源をオン/オフに切り換える

カメラの電源ボタンを押して、オンにします。カメラの電源をオフにするには、電源ボタンをもう一度押します。

カメラの電源を入れると、最後に使用した時と同じ撮影モードになっています。mode ボタンを押して、撮影モードを選択することができます。初めてカメラを使用する際には、言語設定ページが表示されます。

モードボタンの使用

GEカメラでは撮影シーンに応じて簡単に切り換えることができるモードボタンが付いています。使用可能なモードについては、下記の一覧で説明します。

モード名	アイコン	説明
自動		このモードでは誰にでも簡単に静止画を撮影することができます。
手動	M	このモードに切り換えると、手動でカメラの設定を選択して静止画を撮影できます。
ASCNモード	ASCN	このモードでは、撮影条件に合わせて、カメラが自動的に最適なシーンを選んでシャープで鮮やかな静止画を撮影します。
パノラマ		このモードに切り換えると、連続撮影した画像をつなぎ合わせて 1 枚のパノラマ写真にします。
シーンモード	SCN	20 種類のシーンモードから選択して、自動的に最適な設定で静止画の撮影ができます。
動画		このモードに切り換えると、動画撮影ができます。
ポートレート		人物の顔を明るくきれいに撮影できます。

日時と言語の設定

初めてこのカメラを使用する時、まずセットアップメニューで言語と日時を設定してください。

「一般的なセットアップ」を表示させるには、次の手順でおこないます。

1. カメラの電源をオンにします。
2. (menu) ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン左/右を押して、「一般的なセットアップ」を選びます。

言語設定

1. 機能ボタン上/下を押して、言語を選択します。(func ok) または機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、言語を設定します。
3. (func ok) ボタンを押して、設定を確定します。

日時設定

1. 機能ボタン上/下ボタンを押して、日付設定を選択します。(func ok) または機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、日付を設定し、機能ボタン上/下を押して、値を調整します。
3. (func ok) ボタンを押して設定を確定します。

液晶モニターに関するご注意

カメラをオンにすると、液晶モニターにさまざまなアイコンが表示され、現在のカメラ設定とステータスを示します。表示されたアイコンの詳細については、29 ページの「液晶モニター画面表示」を参照してください。

液晶モニターに関するご注意:

液晶モニターの製造に当たっては、ほとんどのピクセルが操作するように、きわめて高い精度のテクノロジが使用されています。しかし、液晶モニターにいくつかのきわめて小さな点 (黒、白、赤、青または緑)が常時表示される場合があります。これらの点は製造プロセスでは通常のことであり、記録された写真に影響を与えることはありません。

液晶モニターが水で濡れることを避けてください。濡れてしまった時は、清潔な、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

液晶モニターが損傷した場合、モニターの液晶には特別な注意を払ってください。次の状況が発生した場合、直ちに以下の措置を取ってください。

- 中の液晶が皮膚に触れた場合、布で拭き取り石鹸と流水でよく洗ってください。
- 液晶が目に入ったら、きれいな水でその目を15分以上洗い、医師の診察を受けてください。
- 液晶を飲み込んだ場合、口を水でよくすすぎ、ただちに医師の診察を受けてください。

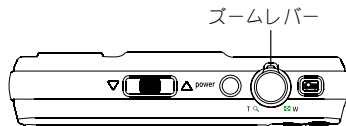
自動モードでの撮影

自動モードは、撮影に使用するもっとも簡単なモードです。このモードで操作している間、カメラは画像を自動的に最適化します。

自動モードで撮影するには、次の手順でおこないます。

1. カメラの電源ボタンを押して、オンにします。
2. モードボタンを押して、自動モードを選択します。(func ok) ボタンを押して設定を確定します。
3. 液晶モニターで被写体の構図を決めます。シャッターボタンを半押し（軽く押す）して、被写体にピントを合わせます。
4. 被写体に焦点が合うと、液晶モニターの中央部に緑色のAFフレームが表示されます。
5. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

ズーム機能を使用する

カメラには光学ズームとデジタルズームの二種類のタイプのズームが装備されています。カメラ上面部のズームレバーを回して、被写体を拡大させたり、縮小させたりして撮影することができます。

光学ズームが最大値に達すると停止します。一旦ズームボタンから指を離し、再度同じ方向に W 回すと、自動的にデジタルズームに切り替わります。ズームインジケーターの表示位置でズーム位置を判断してください。

フラッシュモード

フラッシュを設定するには、次の手順で行います。

1. 機能ボタン右を押して、フラッシュ機能メニューが表示されます。
2. 機能ボタン左/右を押して、6 種類のメニューから選択することができます。

- 自動発光
  暗いときや逆光のときフラッシュが自動的に発光します。
- 赤目軽減発光
  予備発光を行い、目が赤くなる現象を軽減します。
- 強制発光
  すべての条件下で発光します。逆光で撮影するときに適しています。
- 発光禁止
  暗いところでも発光しません。
- スローシンクロ
  夜景を背景に人物撮影するときに適しています。シャッタースピードを遅くして背景をきれいに写します。
- 赤目軽減+スローシンクロ
  スローシンクロ撮影時に人物の赤目現象を軽減できます。

3. func ok ボタンを押して、設定を確定します。

セルフタイマーモード

セルフタイマーを設定するには、次の手順で行います。

1. 機能ボタン下を押すと、セルフタイマー機能メニューが表示されます。
2. 機能ボタン左/右を押して、3 種類のメニューから選択することができます。

- セルフタイマーオフ
  セルフタイマー機能をオフにします。
- セルフタイマー：2秒
  シャッターボタンを全押しすると、2 秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。
- セルフタイマー：10 秒
  シャッターボタンを全押しすると、10 秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。

3. func ok ボタンを押して、設定を確定します。

マクロモード

マクロモードを設定するには、次の手順で行います。

1. 機能ボタン右を押して、マクロ機能メニューが表示されます。
2. 機能ボタン左/右を押して、2 種類のメニューから選択することができます。

- マクロ：オフ
  マクロ機能をオフにします。
- マクロ：オン
  マクロモードオンの設定により、レンズ前約5cmまでの被写体にピントを合わせることができます。

3. ボタンを押して、設定を確定します。

iキー機能

撮影モードでは、キーを押して、OIS及び検出撮影機能を選択することができます。

1. キーを押して、機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、OISを設定することができます。機能ボタン下を押して、検出機能設定メニューが表示されます。

OIS 手ブレ補正

OIS手ブレ補正機能が有効にしますと、手ブレによる画像のブレを防ぎ、より鮮明な画像を撮影できます。液晶モニターには下記に表示してある アイコン が表示されます（パノラマモードのときでは使用できません）。

機能ボタン左/右を押して、2 種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- オン

激しく揺れる環境で写真を撮るとき（例えば、移動している車両で）、補正がよくないかもしれません。

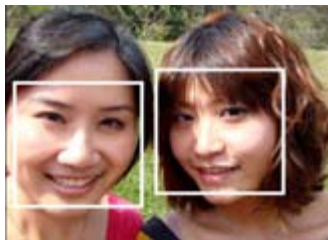
静止画を撮影するとき、撮影する瞬間手ブレ補正をします。動画を撮影するとき、カメラは連続的に手ブレ補正をします。

検出撮影

機能ボタン下を押して、検出撮影設定メニューが表示されます。機能ボタン左/右を押して、顔検出、笑顔検出機能を選択することができます。

顔検出

顔検出機能を使用すると、被写体の顔にピントが自動的に合い、最適な露出が設定されます。（パノラマモードと動画モードでは使用できません）

顔検出を有効になっている時、液晶モニターに アイコンが表示されます。被写体の顔を検出すると、検出される顔の周りに白く四角いフレームが表示されます。シャッターボタンを半押しして、被写体に焦点を合わせます。四角いフレームの色が緑色になると、シャッターボタンを静かに全押しします。

笑顔検出

笑顔検出が有効になっている時、液晶モニターには ボタンが表示されます。シャッターボタンを全押しすると、液晶画面には次のような画面が表示されます。

被写体の顔を笑顔になると、自動的にシャッターが切れて、静止画が撮影できます。

笑顔検出モードで被写体が笑顔にならないと、シャッターが切れないことがあります。その場合、笑顔検出を無効にするには キーを再度押します。

まばたき検出

まばたき検出機能は、工場出荷時にオンに設定されています。画像を撮影した後、まばたきが検出されると、まばたき検出アイコン（ ）が液晶モニターに表示されます。

拡張機能メニュー

カメラの拡張機能メニューには、画像サイズ、画質、ホワイトバランス、色彩、ISO感度、および露出補正機能があります。適切な機能設定により、レベルの高い、安定した静止画および動画を撮影することができます。

拡張機能メニューの設定は、次の手順で行ないます。

1. func ok ボタンを押して、拡張機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン下を押して、拡張機能メニューの六種類のモードを選択することができます。
3. 拡張機能モードを選択したら、機能ボタン上を押して、サブメニューを選択することができます。

4. func ok ボタンを押して、設定を確定します。

WB（ホワイトバランス）

1. ホワイトバランスでは、色合いを正確に再現できるように、さまざまな光源の下の色温度などを調整します。(WB 設定はカメラが M 手動モードに入っているときのみ使用できます)。

2. ホワイトバランスを次の 7 種類から選択します。

- 自動
- 晴天
- 曇天
- 蛍光灯
- 蛍光灯 CWF
- 白熱電球
- 手動

3. 手動を選択すると画面に「シャッターボタンを押して、WB（ホワイトバランス）をセットします。」と表示されます。シャッターボタンを全押しすると、自動的にホワイトバランスを調整します。func ok ボタンを押して、設定を確定します。

ISO 感度

ISO感度の変更は、被写体の明るさに応じて設定します。暗い環境での撮影には、ISO値を高くする必要があります。これとは反対に、明るい環境ではISO値を低くする必要があります。

(ISO感度の設定はカメラが M 手動モードに入っているときのみ使用できます)。

ISO感度が高くなるにつれ電気的なノイズが増えて画像が粗くなります。

ISO のオプションには自動、80、100、200、400、800、1600 および 3200があります。

画質の設定

画質設定は、保存された画像の圧縮比を調整できます。画像サイズ（ピクセル）が大きくなるほど画質が良くなり優れた画像が得られますが、記録する枚数は少なくなります。

画質を次の 3 種類から選択します:

- : 画質: 普通
- : 画質: 標準
- : 画質: 精細

画像サイズの設定

画質設定メニューによって画像の圧縮比を調整することができます。高画質に設定するほど優れた画像が得られますが、より多くの記録スペースを使います。

画像サイズを次の7種類から選択します。

「14M 高品質印刷」、「12M 3：2 フルサイズ印刷」、「10M 16：9表示」、「8M A3印刷」、「5M A4印刷」、「3M 10cmX15cm印刷」、「2M ハガキ」、「0.3M 電子メール」

記録されるピクセル数が大きくなれば、それだけ画質もよくなります。 記録されるピクセル数が小さくなれば、それだけメモリーカードに多くの画像を保存できます。

色彩

色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されます。さまざまな色の組み合わせを試みて、画像の雰囲気を変えることができます。

(色彩は M 手動モードのみ変更ができます)。

色彩を次の 4 種類から選択します。

- 自動
- 白黒
- セピア
- 鮮明

露出補正

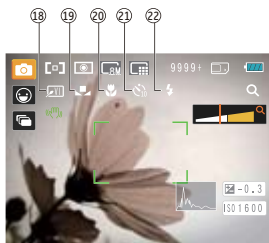
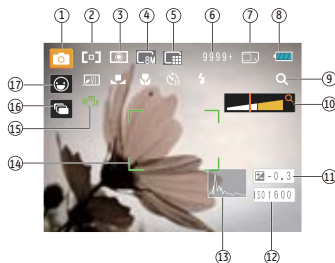
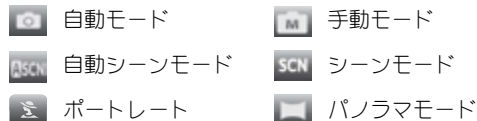
画像の明るさを調整できます。被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が極めて大きい場合に、適正の明るさになるように調整します。

露出値の調整可能範囲はEV -2.0 からEV+2.0までです。

液晶モニター画面表示

静止画撮影モード表示

撮影モードアイコン:

1 撮影モードアイコン（自動モード）

自動モード	手動モード
自動シーンモード	シーンモード
ポートレート	パノラマモード

2 AFモード

- シングルAF
- マルチAF

3 測光方式

- スポット測光
- 中央部重点
- AiAE

4 静止画画像サイズ

5 画質の設定

6 撮影可能枚数

7 メモリーカード/内蔵メモリー表示

8 電池残量表示

9 ズーム表示（デジタルズーム倍率）

10 ズームインジケーター

11 露出補正

12 ISO感度（ M 手動モードでのみ使用可能）

13 ヒストグラム

14 AFフレーム

15 OIS手ブレ補正

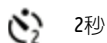
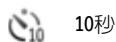
16 連写

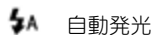
17 選択された検出撮影モード（顔検出、笑顔検出）

18 色彩（ M 手動モードでのみ使用可能）

19 ホワイトバランス（ M 手動モードでのみ使用可能）

20 マクロモード表示

21 セルフタイマー表示

 2秒

 10秒

22 フラッシュモード表示

自動発光

赤目軽減発光

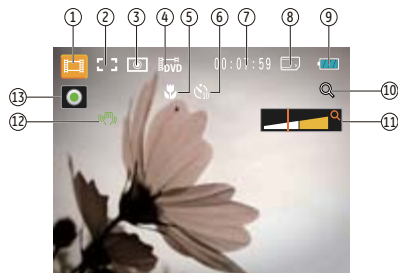
強制発光

発光禁止

スローシンクロ

赤目軽減発光+スローシンクロ

動画撮影モード表示

撮影モードアイコン：

1　撮影モードアイコン

2　AFモード

3　測光方式

　　スポット測光

　　中央部重点

　　AiAE

4　動画画像サイズ

5　マクロモード表示

6　セルフタイマー表示

　10 秒

7　撮影可能時間

8　メモリーカード/内蔵メモリー表示

9　電池残量表示

10　ズーム表示（デジタルズーム倍率）

11　ズームインジケーター

12　OIS手ブレ補正

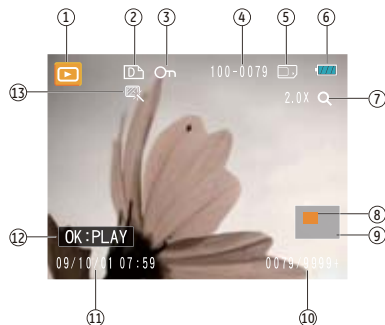
13　録画時間

　　録画スタンバイ

　　録画中

動画の撮影中は、最高の画質を得るために、SDカードの使用をお勧めします。カメラの内蔵メモリーには制限があり、時々画像が途切れてノイズが発生し、画質の低下を招きます。

録画中、光学ズームが最大7倍まで、デジタルズームが最大3倍まで拡大することができます。

再生モード表示
再生モードアイコン: ▶

1 再生モードアイコン
2 DPOF 印刷
3 保護
4 ファイル番号
5 メモリーカード/内蔵メモリー表示
6 電池残量表示
7 ズーム表示（デジタルズーム倍率）
8 画面位置表示（案内マーク）
9 縮小液晶モニター
10 画像番号/総画像数
11 撮影日時
12 OK:PLAY
13 HDR

画面の切り替え表示

disp./機能ボタン上を押して、画面の表示内容を変更することができます。

1. 撮影モード

撮影モードのときにdisp./機能ボタン上を押して、3種類の画面表示に切り換ります。

機能の情報表示

グリッドガイドとヒストグラムの表示

情報表示なし

2. 再生モード

再生モードのときにdisp./機能ボタン上を押して、3種類の画面表示に切り換ります。

機能の情報表示

詳細の情報表示

情報表示なし

自動シーンモード（ASCN）

ASCN モードでは、カメラがさまざまな撮影条件に合ったシーンを自動的に認識して、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせを決めシャープで鮮やかな画像を撮影します。

1. モードボタンを押して、ASCNモードを選択します。液晶モニター画面には次のようなアイコンが表示されます。

2. カメラを被写体に向けると撮影シーンを自動的に判別して、最適なモードを選択します。
3. シャッターボタンを軽く半押しして、被写体の中央にピントを合わせます。

4. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

アイコン	モード名	アイコン	モード名
	風景		夜景
	ポートレート		マクロ
	夜景ポートレート		自動
	逆光のポートレート		

「ASCN」モードでは、カメラが0.5秒ごとに自動的に撮影シーンを判別して、最適なシーンで撮影ができます。

風景

風景写真の場合、ASCNは背景に一致するように露出を自動的に調整します。

ポートレート

人物撮影の場合、ASCNは人物の肌を美しく自然に仕上げ、適切な露出で撮影します。

夜景ポートレート

夜間や暗い条件下で人物を撮影するとき、ASCN は人物と背景の明るさを最適に自動調整します。

逆光のポートレート

太陽またはその他の光源が被写体の背景にある場合、ASCNは前景の露出を自動的に調整して人物が暗くならないように撮影します。

夜景

夜景の場合、ASCNはISO値を自動的に上げて、手ブレを押さえて夜景をきれいに撮影します。

マクロ

小さな被写体をアップで撮影できるようにASCNは自動的にピントを合わせます。

自動

被写体の明るさに応じて最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。

パノラマでパニング撮影

パノラマモードでは、パノラマ写真を作成します。カメラは撮影した個々の画像で、パノラマ写真を自動的に構成します。

パノラマモードで撮影するには、次の手順でおこないます。

1. モードボタンを押して、パノラマを選択します。(func ok) ボタンを押して、設定を確定します。画面には、次のアイコンが表示されます
   - [1➡] [⬅1]
2. 機能ボタン左/右を押して、カメラを動かす方向を選択します。方向を選択しないで2秒経過すると、自動的に初期設定と同様に左から右方向の撮影に設定されます。
3. 液晶モニターで構図を決めてから、シャッターボタンを押し最初の一枚を撮影します。撮影が終了すると画面には、(+) 合成フレームと画面端に [+] ターゲットフレームが表示されます。

4. 一枚目の画像につなげるようにカメラを移動させて、(+) 合成フレームの中心を [+] ターゲットフレームの中心に合わせると、自動的に、二枚目が撮影されます。この手順を繰り返して撮影します。

3 枚の撮影が終了すると、カメラは自動的に一枚ずつの画像をパノラマに合成させます。再生ボタンを押して、再生モードに入り、パノラマ画像を見ることができます。

パノラマ写真撮影中に (func ok) ボタンを押して、画像を保存し、撮影を終了します。消去/機能ボタン下を押して、保存せずに撮影を終了することもできます。

パノラマ撮影中は、フラッシュ、セルフタイマー、マクロ、露出補正の各モードは使用できません。又ズームの切り替えもできません。

シーンモード(SCN)

シーンモードでは、状況に合わせて合計 20 種類のシーンから選択できます。場面に適したシーンを選択するだけで最適な撮影ができます。

1. モードボタンを押して、シーンモードを選択します。液晶モニター画面には次のように表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、撮影に適切なシーンモードを選択します。func ok ボタンを押して、設定を確定します。

アイコン	モード	アイコン	モード
	スポーツ		室内
	雪		花火
	博物館		夜景
	子供		葉
	夕日		ガラス越し
	風景		夜景ポートレート
	ビーチ		資料撮影
	パーティー		IDカード
	魚眼		流し撮り
	テンプレート		スケッチ

スポーツ
動きの速い被写体をぶれずに撮影できます。

室内
室内撮影用です。背景や周辺を鮮明にします。

雪
雪景色を撮影する際、見たままの白を表現します。

花火
夜景や花火の撮影には、シャッター速度を遅くして鮮やかな画像を再現します。（三脚の使用を推奨します）

博物館
博物館やフラッシュが禁止されている場所でも明るく写ります。

夜景
夜景を撮影します。（三脚の使用を推奨します）

子供
子供やペットを撮影する際、目などを保護する為にフラッシュは発光しません。

葉
植物を撮影する際、緑が鮮やかに表現できます。

夕日
夕日を撮影する際、赤色と黄色が鮮やかに表現できます。

ガラス越し
透明なガラスの背後の被写体を撮影します。

風景
風景の撮影では、緑色と青色が鮮やかに表現できます。

夜景ポートレート
人物の顔は明るく、夜景もキレイに写します。

ビーチ
日差しの強い浜辺で綺麗な写真を撮ります。

資料撮影

白地の印刷物などの文字を鮮明に写します。

パーティー

室内のパーティー会場などで、複雑な照明のもとで人物像を自然に撮ることができます。

IDカード

証明書をはっきりと撮ります。

魚眼

魚眼効果を強調した面白い写真が写せます。

流し撮り

速く移動する被写体をはっきり、背景は流れるように撮影します。

テンプレート

面白いフレーム効果を写真に添えます。

スケッチ

鉛筆画効果の写真を撮ります。

シーンモードメニューの表示

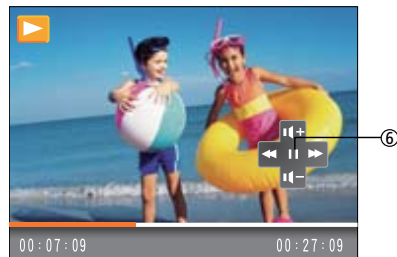
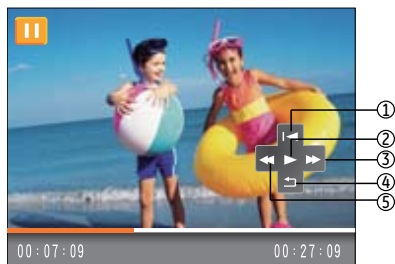
1. シーンモードで、 func ok ボタンを押して、拡張機能メニューが表示されます。
2. 機能ボタン左／右を押して、拡張機能を選択します。
3. 機能ボタン上を押し、機能ボタン左/右を押して、機能メニューを選択します。
4. func ok ボタンを押して、設定を確定します。

機能メニューから画質と画像サイズを設定することができます。詳細な設定については、25ページの「拡張機能メニュー」を参照してください。

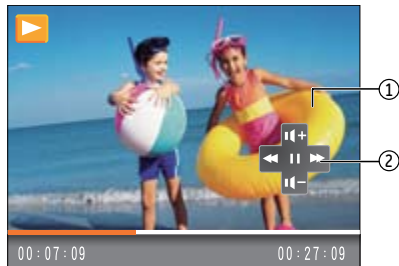
静止画と動画を見る

撮影された静止画や動画を液晶モニターに表示するには、次の手順で行ないます。

1. 撮影モードの状態で、再生ボタンを押すと再生モードに切り替わります。画面には最後に撮影した静止画及び動画が表示されます。
2. 機能ボタン左/右を押して、メモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された画像を選択して表示します。
3. 選択された動画を再生するには、func ok ボタンを押して動画再生モードに入ります。

動画再生中は、画面に操作ガイドが表示されます。機能ボタン左/右と func ok ボタンを押して、操作機能の変更ができます。

下記に操作機能を表示してあります。

1	最初のフレームに戻って再生する	4	最初のフレームに戻る
2	再生	5	巻戻し
3	早送り	6	一時停止

動画を再生する時、機能ボタン上/下を押して、再生音量を調整し 、消音になるとき、 が表示されます。

下記に操作機能を表示してあります。

1.音量を上げる

2.音量を下げる

サムネイルビュー

再生モードで、ズームレバーをT側に回すと、液晶モニターに静止画と動画のサムネイル画像が表示されます。

1. ズームレバーをT側に回すと、3x3と4x4のサムネイル画像が表示されます。
2. 機能ボタン上/下/左/右を押すと、静止画または動画を選択することができます。

液晶モニターには アイコンが表示されるときは動画画像です。

サムネイル画像を選択した後、 ボタンを押して、画像がフルサイズで表示されます。

iキー再生機能

再生モードで、 Ⓘ キーを押すと、シングル画像の再生と日付フォルダーの再生を選択することができます。

1. Ⓘ キーを押して、機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン上/下を押して、二種類のモードから選択することができます:
   - シングル画像の再生
   - 日付フォルダーの再生
3. func/ok を押して設定を確定します。

シングル画像の再生

このモードを選択すると、機能ボタン左/右を押して、画像を再生します。

日付フォルダーの再生

1. 日付フォルダーを選択すると、func/ok ボタンを押して、画面には、次のような画像が表示されます。

2. 機能ボタン上/下を押して、再生する日付フォルダーを選択します。func/okボタンを押して、日付フォルダーのサムネイルビューが表示されます。
3. 機能ボタン左/右を押して、画像を再生します。機能ボタン上/下を押して、前/後ろの日付フォルダーのサムネイルビューを再生することができます。

日付フォルダーの画像を再生する時、ズームレバーを W 側に回すと、画像を拡大します。 T 側に回すと、5X4のサムネイルビューが表示されます。func ok ボタンを押して、この日付フォルダーの再生画面に戻ります。

液晶モニター画面には OK : PLAY アイコンが表示されているときは動画画像です。

画像を拡大する（静止画専用）

画像を再生する時、ズームレバーを回すと、画像を二倍から八倍までに拡大することができます。

1. 再生ボタンを押して、再生モードに入ります。
2. 機能ボタン左/右を押して、拡大する静止画を選択します。
3. ズームレバーを W 側に回して、画像を拡大すると、液晶モニター右上に倍率（2.0x）が表示されます。また画面右下に、画像全体のどの部分を表示しているかを示す画面位置表示（案内マーク、橙色口）が表示されます。機能ボタン左/右、上/下を押して、お好みの場所を見ることができます。
4. 拡大した画像を縮小するときは、func ok ボタンを押します。またはズームレバーを T 側に繰り返して回しても画像を縮小できます。

動画は拡大できません。

画像サイズが0.3Mに設定されている時には、写真のショットは4倍にまでしかズームすることはできません。

画像を消去する方法

再生モードで、消去機能ボタン下を押して、静止画と動画を消去することができます。

静止画または動画の消去：

1. カメラを再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、消去する静止画または動画を選択します。
3. 消去/機能ボタン下を押して、消去画面が表示されます。

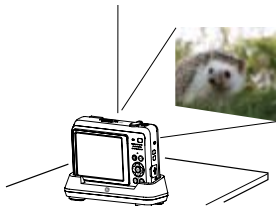
4. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「戻る」を選択し、(func ok) ボタンを押して、設定を確定します。

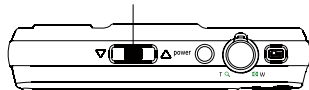
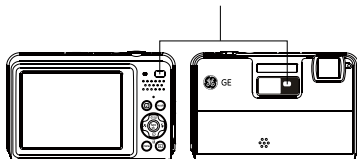
消去された静止画/動画は回復することができません。

1回の操作ですべての静止画/動画を消去するには、59 ページのすべて消去機能を参照してください。

投映機能の使用

カメラで投映する

本機は投映儀が装備されています。簡単な操作だけで静止画と動画を投映することができます。

以下の手順でおこないます。

1. カメラの設置：カメラを投映台において、台の突起部分をカメラのネジ穴に合わせます。
2. 本機とスクリーンの距離が**20cm~2.5m**以内になるようセットしてください。
3. 電源を入れます。
4. ボタンを押して、投映モードに切り替わります。投映のとき、液晶モニター画面がオフします。解像度を高めるため、液晶モニター画面が消えます。投映ズームをスライドさせてピントを調節します。

5. カメラの機能ボタン左/右を押して、または、リモコンで静止画或いは動画を選択して投映します。

6. 投映を無効にするには、もう一回 ボタンを押します。

リチウムイオン電池で投映する場合、投映可能時間が短いので、外部電源を使って投映することをお勧めします。

リチウムイオン電池で投投映する際は、途中で電池を取り出さないでください。

リモコンの各ボタンの機能説明：

ボタン	説明
W	3x3、4x4 のサムネイル画像が表示されます。OK ボタンを押して、画像がフルサイズで表示されます。
T	静止画を2倍から8倍まで拡大することができます。OK ボタンを押して、画像がフルサイズで表示されます。
▲ ◀◀ ▶▶ ▼	静止画の再生：▲ / ◀◀ で前の静止画/動画を選択します。 ▼ / ▶▶ で次の静止画/動画を選択します。 動画再生中：◀◀ 音量を下げる ▶▶ 音量を上げる
OK	静止画：サムネイルビューまたは拡大状態である場合、OK ボタンを押すと、画像をフルサイズで再生します。 動画：OK ボタンを押して、動画を再生します。
(投映ボタン)	どのモードでも、(投映ボタン)ボタンを押すと、投映モードに切り替わることができます。
menu	投映モードで、 menu ボタンを押すと、投映セットアップメニューに入ります。

投映セットアップメニュー

この設定により、保存されている画像をスライドショーとして投映することができます。

1. 投映時、menu ボタンを押すと、投映セットアップメニューが表示されます。

2. 機能ボタン上/下を押して、スライドショー、効果、間隔時間、投映時間を選択することができます。
3. OK /機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下ボタンを押して、オプションを選択します。
4. OK ボタンを押して、設定を確定します。

スライドショー

機能ボタン上/下を押して、スライドショーをオンにします。OK ボタンを押して設定を確定します。または機能ボタン左を押してセットアップメニューに戻ります。menu ボタンを押して投映画面が表示されます。

- オフ
- スタート

効果

機能ボタン上/下を押して、効果を選択します。OK ボタンを押して、設定を確定します。または機能ボタン左を押してセットアップメニューに戻ります。menu ボタンを押して投映画面が表示されます。

- オフ
- スライド
- フェード

間隔時間

機能ボタン上/下を押して、間隔時間を選択します。OK ボタンを押して、設定を確定します。または機能ボタン左を押してセットアップメニューに戻ります。menu ボタンを押して投映画面が表示されます。

- 2秒
- 4秒
- 8秒

投映時間

機能ボタン上/下を押して、投映時間を選択します。OK ボタンを押して、設定を確定します。または機能ボタン左を押してセットアップメニューに戻ります。menu ボタンを押して投映画面が表示されます。

- オフ
- 10分
- 30分
- 60分

操作メニュー

静止画メニュー

撮影モードアイコン:

撮影モードで menu ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

各種設定の手順：

1. セットアップメニューで機能ボタン左/右を押して、撮影セットアップメニューあるいはカメラセットアップメニューを選択します。

2. 機能ボタン上/下を押して、変更する機能オプションを選択します。
3. func ok または機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。

4. 機能ボタン上/下を押して、オプションを選択します。機能ボタン左あるいは menu ボタンを押して、セットアップメニューに戻ることもできます。
5. func ok ボタンを押して、設定を確定します。

変更する機能オプションを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、各セットアップメニューに素早く切り換えることができます。

次のセクションで各設定の詳細を説明しています。

AFモード

被写体を撮影している間、この設定を使用して自動フォーカスメカニズムを制御します。

2 種類のメニューから選択することができます:

- シングルAF: AFフレームが液晶モニターの中央に表示されると、被写体に焦点が合います。
- マルチAF: カメラは焦点を見つけるために、広い領域で被写体に自動的に焦点を合わせます。

AFアシストビーム

この設定により、暗所でも焦点を合わせることができます。オンを選択するとAFアシストビームがオンになり、オフを選択するとこの機能が無効になります。

AF アシストビームがオンになっているとき、シャッターボタンを半押しすると、カメラは被写体にAFビームを投射してピントを合わせ易くします。

コンティニュアスAF

コンティニュアスAF機能がオンになっている状態では、動きのある被写体に対して自動的にピントを合わせ続けます。

測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。

3 種類のメニューから選択することができます。

- スポット測光
- 中央部重点
- AiAE

連写

この設定により、連写（連続撮影）を行います。シャッターボタンを全押ししている間、連写を行います。

5 種類のメニューから選択することができます。

- オフ：連写を無効にします。
- 無制限: シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影します。
- 3Xショット: シャッターボタンを全押ししている間、3コマ連続して撮影します。
- 3Xショット（最後）：シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影します。このうち最後の3コマを記録します。
- インターバル撮影: 事前に設定した撮影間隔で自動的に連続して撮影します。

インターバル撮影を選択して、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。

下記、4 種類のメニューから選択することができます。

- 30 秒
- 1 分
- 5 分
- 10 分

連写を設定してある時は、フラッシュは機能しません。

日付写し込み

撮影と同時に日付と時間を画像に写し込みます。

- オフ
- 日付写し込み
- 日付/時刻

レビュー

この設定により、直前に撮影した画像を見ることができます。画像が画面に表示されている時間を変更することができます。

4 種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- 1秒
- 2秒
- 3秒

デジタルズーム

この設定により、デジタルズーム機能のオン/オフを切り換えることができます。デジタルズームがオフになっているとき、光学ズームのみが使用できます。

バルブシャッター

バルブシャッターが有効になっているとき、シャッターは開いたままになっているか、シャッターボタンを全押ししたままにしていると露出時間をプリセットします。バルブシャッターモードではカメラは自動的に画像ノイズの処理をおこなっているため、撮影後の画像表示に時間のかかることがあります。

（ M 手動モードでのみ使用可能）

- 露出時間を設定するには、サブメニューで機能ボタン上/下を押して、2 秒～30 秒間の範囲で調整ができます。

 長時間露光撮影の場合には、三脚の使用をお勧めします。

 露出時間の設定は撮影ごとにオフに戻ります。再度必要のときは調整してください。

動画メニュー

動画モードアイコン：

動画モードで menu ボタンを押して、動画セットアップメニューが表示されます。

各種設定の手順：

1. 機能ボタン上/下を押して、変更する機能オプションを選択します。

2. func ok / 機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。

3. 機能ボタン上/下を押して、オプションを選択します。機能ボタン左あるいは menu ボタンを押して、セットアップメニューに戻ることもできます。
4. func ok ボタンを押して、設定を確定します。

次のセクションで各設定の詳細を説明しています。

コンティニュアスAF

コンティニュアスAF機能がオンになっている状態では、動きのある被写体に対して自動的にピントを合わせ続けます。

測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。

3 種類のメニューから選択することができます。

- スポット測光
- 中央部重点
- AiAE

再生モードアイコン: ▶

再生モードで menu ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

次のセクションで各設定の詳細を説明しています。

保護

静止画や動画が誤って消去されないように、この設定を使用して一枚またはすべてのファイルを保護することができます。

静止画または動画を保護/保護解除するには、次の手順でおこないます。

1. 再生モードで機能ボタン左/右を押して、保護する静止画または動画を選択します。次に menu ボタンを押して、再生セットアップ1、2メニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、保護を選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。

3. 機能ボタン上/下を押して、3種類のメニューから選択することができます。
   - 1枚
   - すべて
   - リセット
4. 1枚を選択し、 func ok ボタンを押して、「はい」と「戻る」が表示されます。機能ボタン上/下を押して、「はい」を選択し、 func ok ボタンを押して、設定を確定します。
5. 「ロック解除」と「戻る」が表示されます。機能ボタン上/下を押して、「戻る」を選択し、 func ok ボタンを押して、再生セットアップ1、2が表示されます。
6. 画面上部に保護アイコン が表示されると、静止画/動画が保護されていることを示します。
7. すべてを選択すると、「はい」と「取消」が表示されます。「はい」を選択すると、すべて保護されます。
8. リセットを選択すると、「はい」と「取消」が表示されます。「はい」を選択すると、すべての保護が解除されます。

消去

3 種類の消去メニューがあります。

 消去されたファイルは回復できません。

- **1枚消去:**

1. 再生セットアップ項目の詳細手順は保護と同様におこなってください。
2. 再生セットアップ1、2メニューから消去を選択し、1枚を選択してから func ok ボタンを押します。
3. 機能ボタン左/右を押して、消去する静止画または動画を選択します。機能ボタン上/下を押して、（画像を消去する場合は）「はい」を、（前のメニューに戻る場合は）「取消」を選択し、 func ok ボタンを押して、設定を確定します。

- すべて消去:

1. 再生セットアップ1、2メニューから消去を選択し、すべてを選択してから func ok ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、（すべての画像を消去する場合は）「はい」を、（前のメニューに戻る場合は）「取消」を選択し、func ok ボタンを押して、設定を確定します。

- 日付フォルダー消去：

1. 日付フォルダーを選択して、func ok ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、消去する日付フォルダーを選択します。func ok ボタンを押して消去画面が表示されます。
3. 機能ボタン上/下を押して、（日付フォルダーを消去する場合）「はい」を、（前のメニューに戻る場合）「取消」を選択し、func ok ボタンを押して、設定を確定します。

保護アイコン が表示されている画像は保護されています。画像を消去する前に、保護を解除してください。

画像を消去すると、DPOF設定はリセットされます。

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）

DPOFにより印刷するために選択した静止画を記録し、それをメモリーカードに保存することにより、メモリーカードをプリントショップに手渡すだけで済み、どの画像を印刷するかを指摘する必要はありません。

3 種類のメニューから選択することができます。

- 1 枚 ： プリント予約（画像、枚数、日付等）をする画像を一枚づつ選択します。
- すべて： すべての画像をプリント予約します。
- リセット： プリント予約を解除します。

画像のトリミング

トリミング機能により、撮影した画像の不要な部分を切り取ります。トリミングした画像は別の画像として保存されます。

画像をトリミングするには、次の手順でおこないます。

1. 再生セットアップ1、2メニューからトリミングを選択します。
2. 機能ボタン左/右を押して、トリミングする静止画を選択します。
3. ズームレバーを回して、機能ボタン上/下/左/右を押して、画面に表示されたトリミング枠で新しい画像の位置とサイズが合うように調整します。

4. (func ok) ボタンを押して、「変更を保存しますか？」と表示されます。「はい」、「いいえ」を選択して (func ok) ボタンを押して、設定を確定します。

画像サイズが「640X480」以下の場合はトリミングできません。

回転して方向変更した画像はトリミングできません。

画像サイズの変更

この設定により、画像を指定した解像度にサイズ変更し、それを新しい画像として保存することができます。

1. 再生セットアップ1、2メニューから画像のサイズ変更を選択します。

2. 機能ボタン左/右を押して、画像のサイズ変更する静止画を選択します。

3. 機能ボタン上/下を押して、変更する画像サイズ「1024X768」、「640X480」を選択します。「戻る」を選択すると、再生セットアップ1、2メニューに戻ります。

4. func ok ボタンを押して設定を確定します。

サイズ変更した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

元の画像サイズが、「640X480」より小さい場合は、サイズ変更することはできません。

回転して方向変更した画像はサイズ変更できません。

パノラマ画像は、サイズ変更できません。

画像回転

選択した画像の方向（縦横位置）を設定します。

1. 再生セットアップ1、2メニューから画像回転を選択します。

2. 機能ボタン左/右を押して、画像回転する静止画を選択します。

3. 機能ボタン上/下を押して、回転方向「時計回りに回転します」、「反時計回りに回転します」を選択します。「戻る」を選択すると、再生セットアップ1、2メニューに戻ります。

4. func ok ボタンを押して設定を確定します。

回転した画像は、保存されますが、元の画像は保存されません。

パノラマ合成した画像を回転させることはできません。

動画ファイルは向きを回転させることができません。

赤目補正

カメラには赤目補正の機能が搭載されています。人物撮影で赤目の現象が発生したときに赤目の部分を補正します。

1. 再生セットアップ1、2メニューから赤目補正を選択します。
2. 機能ボタン左/右を押して、赤目補正する静止画を選択します。
3. 機能ボタン上/下を押して、「はい」を選択します。「戻る」を選択すると、再生セットアップ1、2メニューに戻ります。

4. func ok ボタンを押して設定を確定します。

被写体ができるだけカメラの正面を向くようにすると、赤目現象は大幅に補正できます。

動画画像は赤目補正ができません。

画像に赤目現象がなければ、「はい」を選択して、ボタンを押すと、「赤目現象はありません」と表示されます。

HDR

HDR機能では、撮影した画像の露出、コントラスト不足などにより発生した、画像ムラ、明暗を補正して最適な画像にします。

1. 再生セットアップ1、2メニューからHDRを選択します。

2. 機能ボタン左/右を押して、HDRする静止画を選択します。
3. 機能ボタン上/下を押して、「はい」を選択します。「戻る」を選択すると、再生セットアップ1、2メニューに戻ります。
4. func ok ボタンを押して設定を確定します。
5. HDR最適化した画像は保存されますが、元の画像は保存されません。

スライドショー　他

スライドショー　他モードアイコン：

再生モードで (menu) ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

設定を行なうには、次の手順でおこないます。

スライドショー

この設定により、保存されているすべての画像をスライドショーとして表示できます。

1. セットアップメニューで機能ボタン左/右を押して、スライドショー　他を選択し、機能ボタン上/下を押して、スライドショーを選択します。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。

   1.効果：「オフ」、「タイプ1」、「タイプ2」

   2.間隔時間：「1秒」、「3秒」、「5秒」

   3.リピート：「オン」、「オフ」

3. 機能ボタン上/下、左/右を押して、オプションを選択し、 func ok ボタンを押して、設定を確定します。

4. 設定を確定後、機能ボタン上/下を押して、「スタート」を選択するとスライドショーが開始されます。「取消」を選択すると、セットアップメニューに戻ります。

壁紙の設定

この設定により、液晶モニターの背景に使用するお気に入りの画像を選択できます。

1. セットアップメニューで機能ボタン左/右を押して、スライドショー　他を選択し、機能ボタン上/下を押して、壁紙の設定を選択します。

2. func ok または機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。

   1.メニューの壁紙：「ユーザー」、「ナチュラル」、「スパークリング」

   2.歓迎の壁紙：「ユーザー」、「GE」

   3.初期設定に戻す：「はい」、「いいえ」

3. 機能ボタン上/下、左/右を押して、オプションを選択し、 func ok ボタンを押して、設定を確定します。

カメラ設定メニュー

モードアイコン:

すべてのモードで menu ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

セットアップメニューで機能ボタン左/右を押して、一般的なセットアップメニューを選択します。

設定を行なうには、次の手順でおこないます。

1. 機能ボタン上/下を押して、変更する機能オプションを選択します。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューに入ります。
3. 機能ボタン上/下を押して、オプションを選択します。機能ボタン左あるいは menu ボタンを押して、セットアップメニューに戻ることもできます。

変更する機能オプションを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、各セットアップメニューに素早く切り換えることができます。

ビープ音

この設定により、ボタンを押したときの操作音の音量を調整し、シャッター、ボタン、セルフタイマー、および電源オン/オフのトーンを変更します。

設定を変更するには、次の手順でおこないます。

1. 一般的なセットアップメニューからビープ音を選択します。
2. サブメニューには「音量」、「シャッター」、「キー」、「セルフタイマー」、「電源」が表示されます。
3. サブメニューで、各オプションを選択すると、下記の通りに表示されます。

   音量： レベル1、レベル2、レベル3、消音

   シャッター：トーン1、トーン2、トーン3

   キー： トーン1、トーン2、トーン3

   セルフタイマー： トーン1、トーン2、トーン3、トーン4

   電源： トーン1、トーン2

4. 機能ボタン上/下を押して、オプションを選択し、func ok ボタンを押して、設定を確定します。

液晶の明度

この設定により、液晶画面の明るさを調整します。

1. 一般的なセットアップメニューから液晶の明度を選択します。
2. 機能ボタン左/右を押して、自動または明度を選択し、 func ok ボタンを押して、設定を確定します。

省電力

この設定により、電力を節約し、電池寿命を延ばすことができます。以下のステップに従って液晶画面をオフにすると、カメラは一定時間の後自動的に停止状態になります。

1. 一般的なセットアップメニューから省電力を選択します。
2. サブメニューには「液晶画面オフ」、「カメラ電源オフ」が表示されます。

3. サブメニューで、各オプションを選択すると、下記の通りに表示されます。
   - 液晶画面オフ: オン/30 秒/1 分/2 分
   - カメラ電源オフ：オン/3 分/5 分/10 分
4. (func ok) ボタンを押して、設定を確定します。

ゾーン

世界時間の設定は、海外旅行に役立ちます。この機能により、海外にいる間、液晶画面に現地時間を表示することができます。

1. 一般的なセットアップメニューからゾーンを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、 自宅を選択し、機能ボタン左/右を押して、ゾーン（同じ時間帯のある都市）を選択し、(func ok) ボタンを押して、設定を確定します。
3. 機能ボタン上/下を押して、 現地（訪問先）を選択し、機能ボタン左/右を押して、ゾーン（同じ時間帯のある都市）を選択し、(func ok) ボタンを押して、設定を確定します。ゾーンを設定するだけで時差は自動的に処理されます。

日時設定

16ページの「日時設定」を参照してください。

言語設定

15ページの「言語設定」を参照してください。

ファイル・ソフトウェア

フォーマット

フォーマット機能では、保護された画像を含め、メモリーカードとカメラの内蔵メモリーのすべてのデータを消去します。

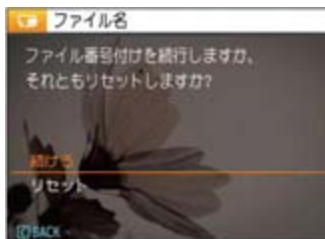
設定を変更するには、次の手順でおこないます。

1. ファイル・ソフトウェアメニューからフォーマットを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、func ok ボタンを押して、設定を確定します。

3. メモリーカード（メディア）も初期化されます。
4. メモリーカードがない場合、内蔵メモリーをフォーマットします。メモリーカードがある場合、メモリーカードのみフォーマットしません。

ファイル名

静止画または動画を記録した後、カメラはメモリーカードにファイルを自動的に保存します。保存するとき、数字が撮影した最後の画像から続くか、新たにカウンタを 1にリセットして、新しいフォルダに保存するかを決定することができます。
(メモリーカードに記録された画像数が999枚以上である場合、この機能は効きません。)

1. ファイル・ソフトウェアメニューからファイル名を選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「リセット」または「続ける」を選択し、 (func ok) ボタンを押して、設定を確定します。

カードへコピーする

この設定により、内蔵メモリーに保存された画像をメモリーカードにコピーします。

1. ファイル・ソフトウェアメニューからコピーを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、 (func ok) ボタンを押して、設定を確定します。

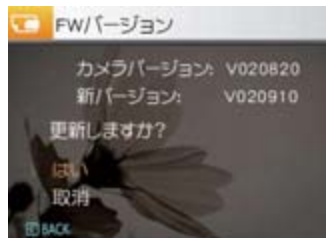
リセット設定

この設定により、カメラを出荷時の設定に戻します。

1. ファイル・ソフトウェアメニューからリセットを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、func ok ボタンを押して、設定を確定します。

FWバージョン

この設定により、現在のカメラのファームウェアバージョンの表示または更新します。

1. ファイル・ソフトウェアメニューからFWバージョンを選択します。

2. 新ファームウェアーバージョンをインストールした時は、画面に新バージョンが表示されます。
3. 画面に新ファームウェアーバージョンが表示されたときは、「はい」または「取消」を選択し、func ok ボタンを押して、設定を確定します。

電池残量が少ない時は、ファームウェアを更新することはできません。

PCに接続する

カメラに付属するUSBケーブルとArcSoftソフトウェア(CD-ROM)を使用して、画像をコンピュータにコピー(転送)します。

USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定ができていることを確認します。

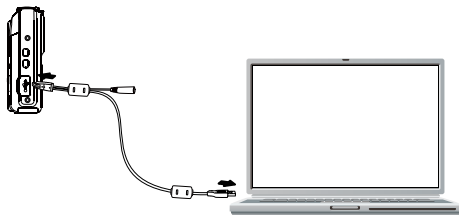
1. menu ボタン押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン左/右を押して、転送メニューを選択し、機能ボタン上/下を押して、USB接続を選択します。
2. func ok /機能ボタンを押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、PCを選択します。
3. func ok ボタンを押して設定を確定します。

PCにファイルを転送する

コンピュータは、リムーバブルドライブとしてカメラを自動的に認識します。デスクトップのマイコンピュータアイコンをダブルクリックしてリムーバブルドライブを検索し、一般的なフォルダやファイルをコピーするPCのディレクトリにドライブのフォルダとファイルをコピーします。

USBケーブルを使用することによって、撮影した静止画と動画をPCに転送することができます。以下のステップに従って、PCにカメラを接続します。

1. ArcSoftソフトウェアがインストールされているコンピュータを起動します。
2. カメラとPCがどちらもオンになっていることを確認します。
3. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB端子に接続します。
4. ケーブルの他の端をPCの空きUSB端子に接続します。

5. 転送が完了したらケーブルを取り外します。

USBオプションが[PC]に設定されている場合:

カメラをオフにし、USBケーブルを抜きます。

USBオプションが[PC（PTP）]に設定されている場合：

カメラをオフにしてUSBケーブルを抜く前に、以下で説明するように、システムからカメラを取り外します。

ウィンドウズ・オペレーティングシステム（ウィンドウズ2000、ウィンドウズXP、ウィンドウズ・ビスタ、ウィンドウズ7）

（ハードウェアーを安全に取り外す）アイコンをクリックし、現れたメニューにしたがってUSBコネクター（接続）を取り外します。

Macintosh

ごみ箱に無題のアイコンをドラッグします。("無題")

PictBridge互換プリンターに接続する

PictBridgeにより、画像をデジタルカメラのメモリーカードからどのブランドのプリンターにも直接印刷できます。プリンターがPictBridge互換かどうかを調べるには、パッケージでPictBridgeロゴを探すか、マニュアルの仕様をチェックします。カメラにPictBridge機能が搭載されていることで、付属のUSBケーブルを使用してPictBridge互換プリンターで記録した画像を直接印刷することができます。PCは必要ありません。

USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定がされていることを確認します。

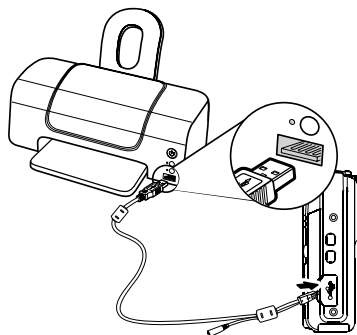
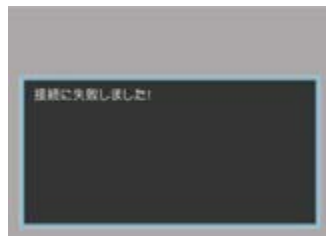
1. ボタン押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン左/右を押して、転送メニューを選択し、機能ボタン上/下を押して、USB接続を選択します。

2. /機能ボタンを押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、プリンターを選択します。

3. ボタンを押して設定を確定します。

カメラをリセットすると、USBモードからPC接続モードに自動的に切り替わります。

カメラとプリンターを接続する

1. カメラとプリンターがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をプリンターのUSB端子に接続します。

カメラがPictBridge 互換プリンターに接続されていない場合、液晶モニターに次のエラーメッセージが表示されます。

USBモードが正しく設定されていない場合も上のエラーメッセージが表示されます。その場合、USBケーブルを抜き、USBモード設定をチェックして、プリンターの電源がオンになっていることを確認してから、USBケーブルを再び接続します。

PictBridgeメニューを使用する

USBモードをプリンターに設定すると、5 種類のDPSメニューが表示されます。

1.日付印刷

2.日付なし印刷

3.サムネイル画像を印刷する

4.DPOF画像を印刷しますか

5.戻る

機能ボタン上/下を押して、DPSメニューを選択します。

すべての設定の詳細については、次の項を参照してください。

日付印刷

カメラの日時設定を行なうと、撮影したすべての画像が日時付きで保存されます。日時付きで画像をプリントアウトするには、次の手順でおこないます。

1. DPSメニューで、「日付印刷」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、日付印刷する画像を選択します。

3. 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
4. func/ok ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。 func/ok ボタンを押して、設定を確定します。

日付なし印刷

この設定により、日付を入れずに画像が印刷されます。

1. DPSメニューで、「日付なし印刷」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、日付なし印刷する画像を選択します。
3. 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
4. func/ok ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。(func ok) ボタンを押して、設定を確定します。

サムネイル画像の印刷

この機能により、カメラのサムネイル画像の印刷ができます。

1. DPSメニューで、「サムネイル画像を印刷する」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。(func ok) ボタンを押して、設定を確定します。

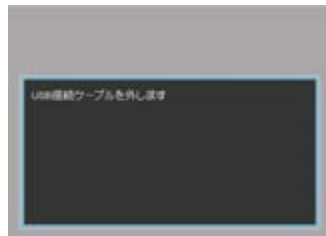
DPOF画像の印刷

DPOF画像を印刷するには、前もってDPOF設定で画像を選択してください。（57 ページのDPOFを参照してください。）

1. DPSメニューで、「DPOF画像を印刷しますか」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。 (func ok) ボタンを押して、設定を確定します。

USBケーブルを取り外す

DPSメニューを終了するには、「戻る」を選択します。「USB接続ケーブルを外します」メッセージが表示されます。

画面にこのメッセージが表示されると、カメラとプリンターからUSBケーブルを安全に取り外すことができます。

仕様

「外観と仕様の一部を将来予告なしに変更することがあります。」

<table>
<tr><td colspan="2">カメラ部有効画素数</td><td>1410万画素</td></tr>
<tr><td colspan="2">撮像素子</td><td>1/2.3型CCD（総画素数 1420万画素）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">レンズ</td><td>焦点距離</td><td>5.05～35.35mm</td></tr>
<tr><td>35mmフィルム換算</td><td>28～196mm</td></tr>
<tr><td>開放F値</td><td>F3.9～F5.8</td></tr>
<tr><td>レンズ構成</td><td>11群 14枚</td></tr>
<tr><td>光学ズーム</td><td>7倍</td></tr>
<tr><td>撮影範囲</td><td>通常撮影 60cm～∞（W）、120cm～∞（T）
マクロ撮影 5cm～120cm（W）、120cm～∞（T）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ブレ軽減</td><td>光学式（OIS）</td></tr>
<tr><td colspan="2">デジタルズーム</td><td>6倍（光学7倍と併用して最大42倍）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">記録画素数
（画像サイズ）</td><td>静止画</td><td>14M, 12M(3:2), 10M(16:9), 8M, 5M, 3M, 2M(16:9), 0.3M</td></tr>
<tr><td rowspan="2">動画</td><td>1280x720（30fps、15fps）、640x480（30fps、15fps）、320x240（30fps、15fps）</td></tr>
<tr><td>1280x720（30fps、15fps）連続最大29分。</td></tr>
</table>

項目		仕様
画質		精細画質、標準画質、普通画質
DCF、DPOF (Ver1.1)サポート		○
ファイル形式	静止画	Exif2.2 (JPGE)
	動画	画像圧縮: MOV(MPGE-4/H.264)、音声: G7.11 [Monaural]
撮影モード		自動、動画、パノラマ、ブレ軽減モード、ポートレート、シーン (スポーツ、室内、雪、花火、博物館、夜景、子供、葉、夕日、ガラス越し、風景、夜景ポートレート、ビーチ、資料撮影、パーティー、IDカード、魚眼、流し撮り、テンプレート、スケッチ)
笑顔検出		○
まばたき検出		○
顔検出AF		○
赤目補正機能		○
パノラマ合成撮影		○
PC投映	サイズ	5～70インチ
	距離	約20cm~2.5mメートルまで
	解像度	640ドット x 360ドット
	明るさ	最大15ルーメン (ピーク時)
	コントラスト比	300:1
投映機接続		PC接続

液晶モニター	3.0インチ TFTカラー液晶モニター (230,400 ピクセル)
ISO感度	自動、ISO 80/100/200/400/800/1600/3200
AF方式	シングルAF、マルチAF(TTL 9ポイント)、顔検出AF、AFアシストビーム (オン/オフ)
測光方式	AiAE、中央部重点、スポット測光
露出制御方式	プログラムAE(AEロック可能)
露出補正	±2 EV(1/3ステップ刻み)
シャッター速度	4～1/2000秒 (手動30秒)
連写	約1.39fps （精細／標準モード)
再生モード	静止画、サムネイル(9/16)、スライドショー、動画 （スローモーション可能）、ズーム(約2倍～8倍)、音声、ヒストグラム表示
ホワイトバランス	自動、晴天、曇天、蛍光灯、蛍光灯 （CWF）、白熱電球、手動
内蔵フラッシュ	自動発光/赤目軽減発光/強制発光/発光禁止/スローシンクロ/赤目軽減発光+スローシンクロ
	撮影範囲 ワイド: 約0.5m～2.8m / 望遠: 約0.8m～1.8m
記録メディア	内蔵メモリー: 18 MB
	SDカード/SDHCカード(16 GBまでサポート)

その他の機能	PictBridge、Exif印刷サポート、言語設定
入出力端子	USB2.0-OUT
電源	充電式リチウムイオン電池 GB-50、3.7V 950mAH
撮影枚数	約260枚(CIPA標準に基づく)
	投映時間：70 分
動作環境	温度：0～40℃ 湿度：90%以下（結露しないこと）
寸法(幅 x 高さ x 奥行き)	100.8mm x 64.5mm x 21.2 mm
質量	約125g (本体のみ)

エラーメッセージ

メッセージ	説明
カードエラー	・ メモリーカードの画像フォーマットを識別または読み込みできません。 ・ 新しいメモリーカードと交換するか、または本機でカードをフォーマットしてください。
メモリーカード残量なし	・ メモリーカードがいっぱいで、新しい画像を保存できません。
書き込み保護	・ メモリーカードが書き込み保護されています。
ピクチャーエラー	・ 画像が正しく記録されていません。 ・ 画像が損傷しています 。
ピクチャーなし	・ メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がありません。
レンズエラー	・ レンズのつまり、引っ掛りにより、カメラの電源が自動的にオフになります。
画像が保存できない	・ メモリーカードの書き込み保護スイッチが 「ロック」 位置にセットされています。

メッセージ	説明
メモリーカードがフォーマットされていません。フォーマットしますか?	• メモリーカードのフォーマットを確認してください。(フォーマットの詳細は 68 ページをご参照してください。)
画像を消去できません	• 消去しようとしている静止画や動画が書き込み保護されています。
警告 カメラ録画中。お待ちください。	• 動画/音声の録画中、他の操作は実行できません。
警告 バッテリーがありません	• 電池切れです。 • 電池が充電切れです。
ファイルを再生できません	• 画像 (メモリーカード) がカメラで認識できません。
接続なし	• カメラがプリンターに正しく接続されていません。
印刷エラー	• カメラがプリンターに正しく接続されていません。
印刷できません	• プリンターが用紙またはインク切れでないことを確認してください。 • プリンターの用紙が詰まっていないかどうか確認してください。

困ったときには

問題	考えられる原因	解決法
カメラがオンにならない。	• 電池切れです。 • 電池が正しく挿入されていません。	• 新しい電池に交換してください。 • 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。 • 電池のプラスとマイナスを確認しながら電池を挿入します。
操作中にカメラが突然オフになる。	• 電池切れです。	• 新しい電池に交換してください。 • 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。
写真がぼやける。	• レンズが汚れています。 • 手ブレ、被写体ブレになっています。	• 柔らかい布を使用して、カメラのレンズを軽く拭いてください。 • OIS 手ブレ補正を有効します。
静止画、動画ファイルを保存することができません。	• メモリーカードの残量がありません。	• メモリーカードを新しいものと交換してください。 • 不要な画像を消去してください。 • メモリーカードのロックを解除してください。
シャッターボタンを押しても画像を撮影できない。	• メモリーカードの残量がありません。 • ファイルを保存する空き容量がありません。 • 再生モードになっています。	• メモリーカードを新しいものと交換してください。 • 不要な画像を消去してください。 • メモリーカードがロックされています。 • モードボタンを押して、静止画撮影モードを選択します。
接続したプリンターから画像を印刷できない。	• カメラがプリンターに正しく接続されていません。 • プリンターがPictBridge互換でありません。 • プリンターが用紙またはインク切れです。 • 用紙詰まりです。	• カメラとプリンターの接続を確認してください。 • PictBridge互換プリンターを使用してください。 • プリンターに用紙を補給してください。 • プリンターのインクカートリッジを交換してください。 • 詰まっている用紙を取り除いてください。

問題	考えられる原因	解決法
メモリーカードの書き込み速度が遅い	• クラス4以下のメモリカードでHD以上の動画を記録する場合、書き込みスピードが遅くなって、記録できない可能性があります。	• SDHCカードを使用して、または、このメモリーカードをフォーマットしてください。
メモリカードに書き込むことができません	• メモリーカードが書き込み保護されています。 • 静止画/動画を撮影するとき、メモリーカードの書き込みが中止（記録速度が遅すぎるなどの原因で）になって、撮影できなくなります。	• 他のメモリーカードに切り換えてください。 • もう一回撮影します。
日付フォルダーの再生はできません	• 日付フォルダーで再生する時、メモリーカードで保存されている画像数或いはフォルダー数が規格に超えて、日付フォルダーの再生はできません。	• 不要な画像を消去してください。 • メモリーカードにある一部分の画像を他の場所へ移動して保存してください。
メモリーカードにフォルダー数が保存可能数に超えます	• ファイル・ソフトウェアセットアップメニューに「ファイル名」を「はい」に設定されています。（ファイル名の詳細は69ページをご参照してください）。	• メモリーカードにある一部分の画像またはフォルダーを他の場所へ移動して保存してください。 • ファイル・ソフトウェアセットアップメニューに「ファイル名」を「いいえ」に設定してください。